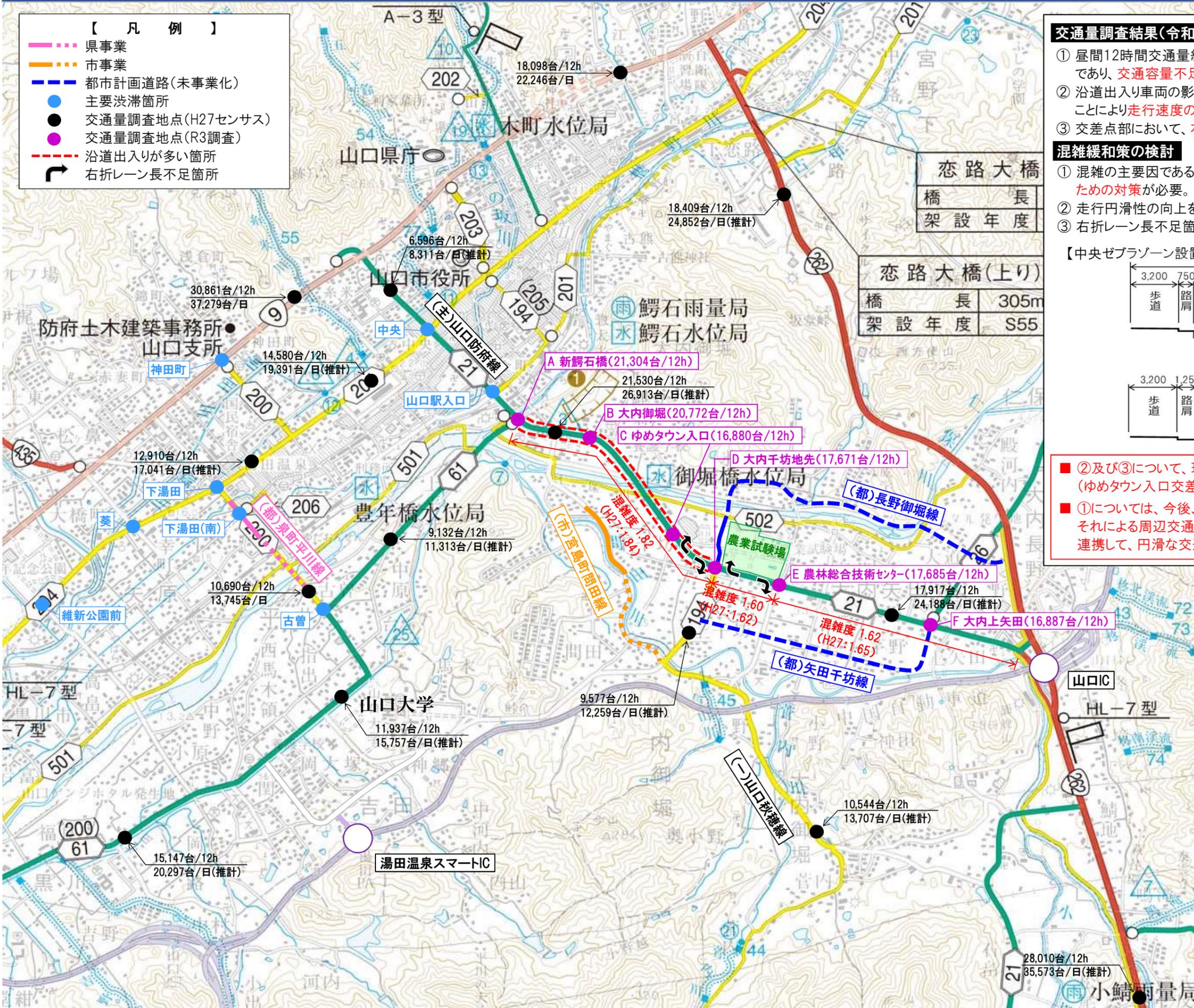


県道山口防府線 交通実態調査結果（令和3年度）

- 【 凡 例 】
- 県事業
 - 市事業
 - 都市計画道路(未事業化)
 - 主要渋滞箇所
 - 交通量調査地点(H27センサス)
 - 交通量調査地点(R3調査)
 - 沿道出入りが多い箇所
 - 右折レーン長不足箇所



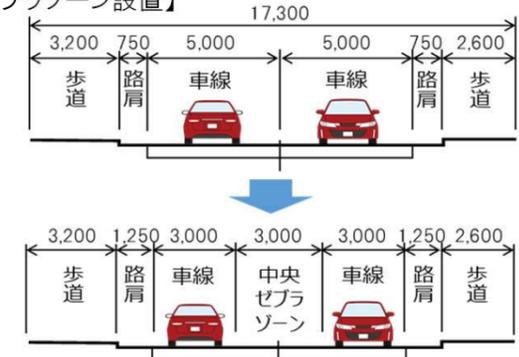
交通量調査結果(令和3年度)

- ① 昼間12時間交通量約1万7千台～2万1千台、混雑度1.60～1.82であり、**交通容量不足による混雑**が発生している。
- ② 沿道出入り車両の影響や、車線幅員が広く走行位置が定まらないことにより**走行速度の低下**が生じている。
- ③ 交差点部において、**右折レーン長が不足**している箇所がある。

混雑緩和策の検討

- ① 混雑の主要因である交通容量不足に対しては、**交通の分散を図るための対策**が必要。
- ② 走行円滑性の向上を図るため、**中央ゼブラゾーン**の設置を行う。
- ③ 右折レーン長不足箇所について、**右折レーンを延長**する。

【中央ゼブラゾーン設置】



- ②及び③について、現在実施中であり、今年度中に完了予定。(ゆめタウン入口交差点(C)～農林総合技術センター交差点(E))
- ①については、今後、跡地の具体的な利用方法を踏まえて、それによる周辺交通への影響を適切に見込んだ上で、市と連携して、円滑な交通の確保に向けた対策の検討が必要。

